

令和 6 年度横浜市立大学 データサイエンス人材育成プログラム（国際商学部）自己点検結果

国際商学部長
和田 淳一郎

本プログラムは、① ADEPT プログラムの教育を補完的・発展的に学び、データから意味を抽出し、現場にフィードバックする能力や AI を活用し課題解決につなげる基礎能力を修得すること、②自らの専門分野に数理・データサイエンス・AI を応用するための大局的な視点を獲得することを目的としている。

【令和 6 年度】

●教育プログラムの履修・修得状況

本プログラムは参加申請が不要のため、令和 6 年度国際商学部入学者 287 名が新規履修対象者となった。また、年度中の新規修了者は 114 名であった。

修了者数向上のため、学期始めに学年ごとのオリエンテーションを実施し、プログラムの詳細を周知、履修推奨を行った。

●学修成果

各科目における課題や最終試験を通じて、学修成果を確認した。また、各科目の授業評価アンケートにより、学生の理解度と学修成果を把握した。集計・分析結果は、各学部および FD・SD 推進委員会で分析結果を共有し、各科目の改善に活用した。

●学生アンケートを通じた学生の内容の理解度

授業評価アンケートから算出した本プログラムの必修科目「総合講義（データサイエンス入門）」の評価は、学修到達目標の達成「3.6/5」、満足度「3.6/5」であり、「経済統計 I」の評価は、学修到達目標の達成「4.5/5」、満足度「4.7/5」といずれも学生評価は概ね高評価を得たと確認した。

●学外からの視点

本プログラムの内容・手法等の改善については、データサイエンス人材育成プログラム（国際商学部）管理部会において、検討することとしている。また、必要に応じて、各種アンケートを通じて得た学外の意見を踏まえて、検討を行う予定である。

【令和 5 年度】

●教育プログラムの履修・修得状況

本プログラムの履修状況は、収容定員（1,040 名）に対して 28%（296 名）であった。修了者数について、2 年次以降配当科目をプログラム上の必修科目としているため、プログラム開始初年度である令和 5 年度は 0 名であった。

修了者数向上のため、学期始めに学年ごとのオリエンテーションを実施し、プログラムの詳細を周知、履修推奨を行った。

●学修成果

各科目における課題や最終試験を通じて、学修成果を確認した。また、各科目の授業評価アンケートにより、学生の理解度と学修成果を把握した。集計・分析結果は、国際商学部および FD・SD 推進委員会で分析結果を共有し、各科目の改善に活用した。

●学生アンケートを通じた学生の内容の理解度

授業評価アンケートから算出した本プログラムの必修科目「総合講義（データサイエンス入門）」の評価は、学修到達目標の達成「4.0/5」、満足度「4.0/5」といずれも学生評価は 4 以上と概ね高評価を得たと確認した。

なお、本プログラムのもう一つの必修科目である「経済統計Ⅰ」については、2 年次以降履修科目であるため、令和 6 年度分の自己点検から分析対象とする。

●学外からの視点

本プログラムの内容・手法等の改善については、データサイエンス人材育成プログラム（国際商学部）管理部会において、検討することとしている。また、必要に応じて、各種アンケートを通じて得た学外の意見を踏まえて、検討を行う予定である。